

電気電子業界 2018年の回顧と2019年の展望

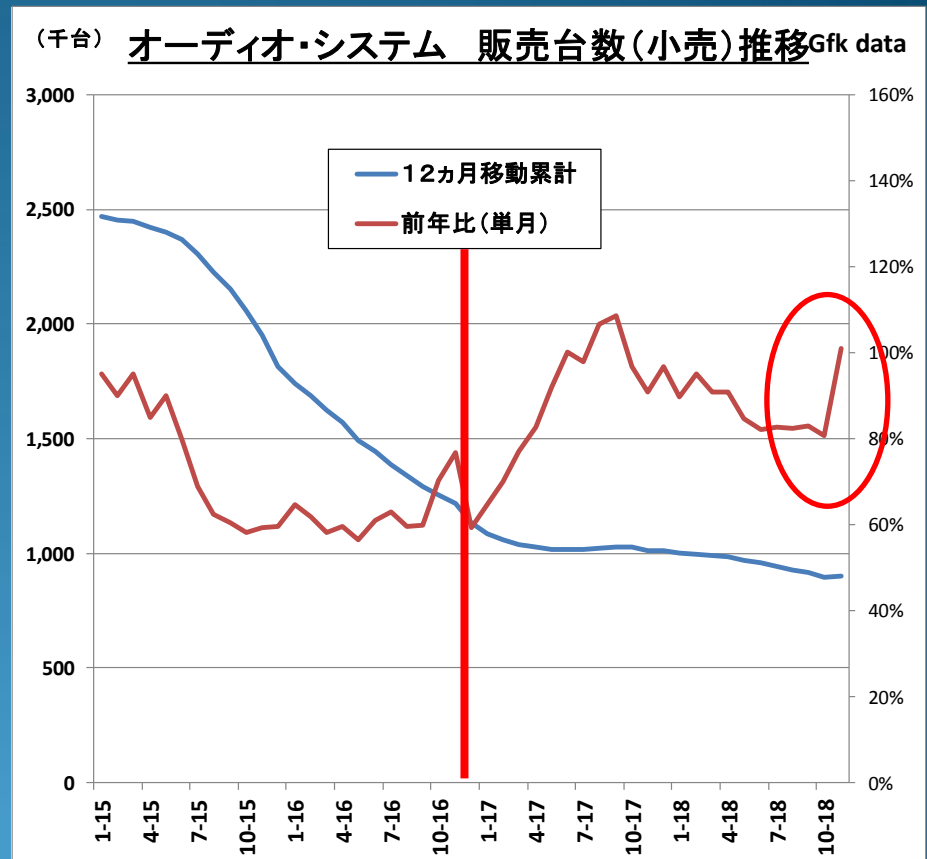
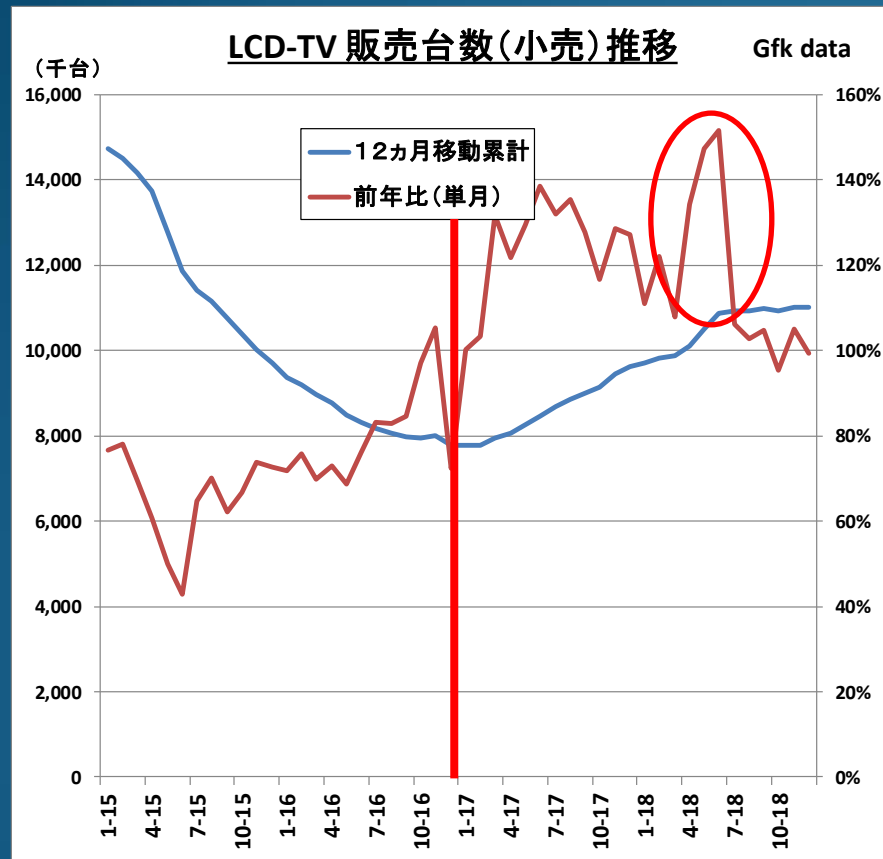
2019年2月28日

電気電子部会

アジェンダ

- ・ 市場（TV、システムオーディオ）、生産（マナウス経済特区）動向アップデート
- ・ 会員企業景況感調査結果報告
- ・ Zona Franca Manaus（マナウス経済特区）オペレーションについて
- ・ 商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

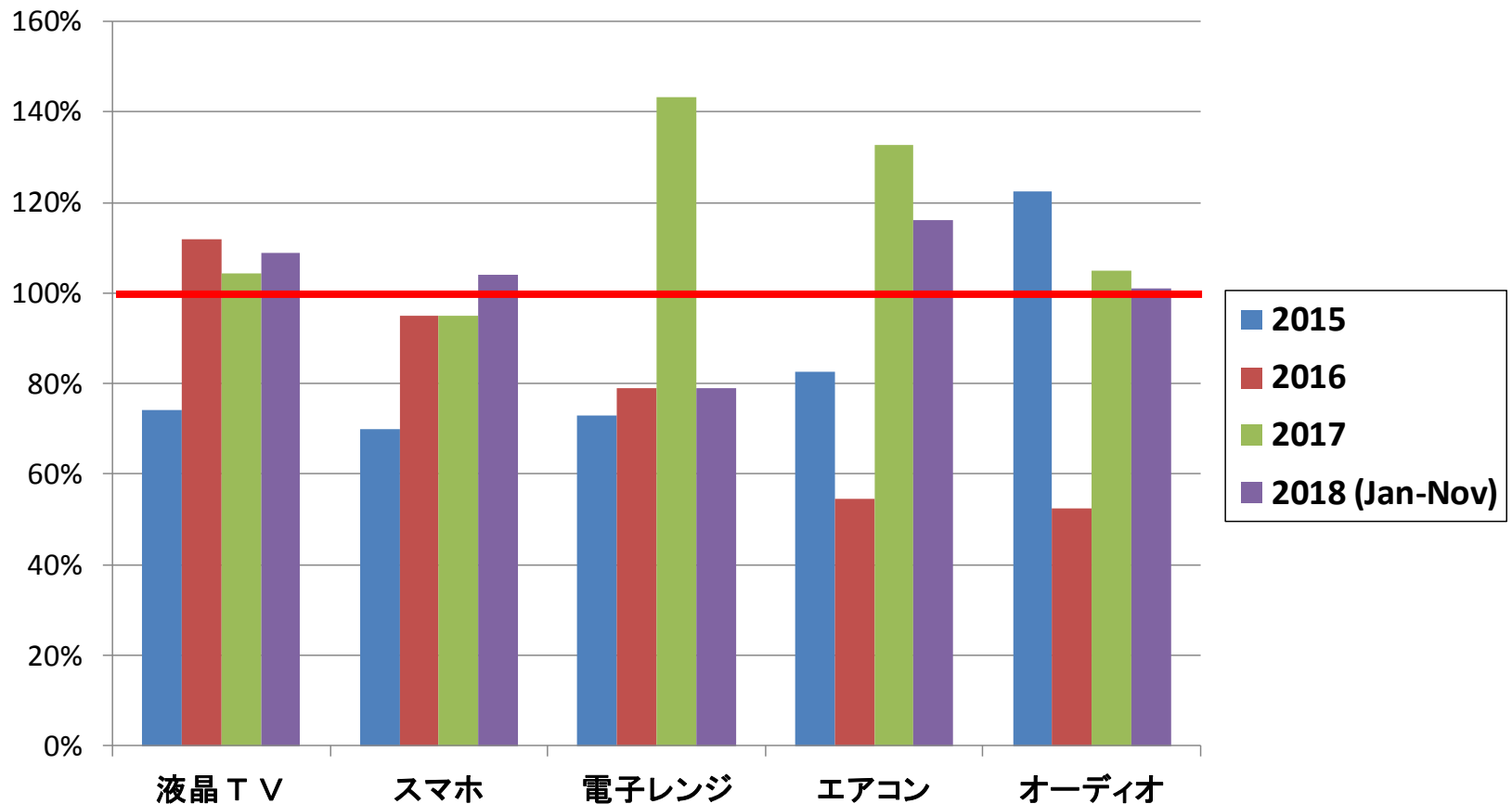
液晶TV、オーディオシステム販売台数（小売）の推移



- テレビ・オーディオ共に2017年より回復基調に転ずる
- 2018年のテレビ市場はワールドカップによる特需がありその後、市場在庫調整
- オーディオシステム市場は2018年ワールドカップ後より市場回復

主要家電製品 マナウス生産数量推移

マナウス地域における生産数量の推移(対前年比)



- ほぼすべてのカテゴリーで回復基調、対前年超え
- 2018年の電子レンジは2017年からの市場在庫調整

2018年回顧と2019年展望 会員アンケート結果

電気電子部会各社の販売動向（対前年）

「維持」を対前年比 100～109%として分類

8月時点の
2018年展望

	改善	維持	悪化	合計
18年下期 展望	10	5	1	16
(%)	63%	31%	6%	100%

今回の
アンケート
結果

	改善	維持	悪化	合計
18年 回顧	8	6	0	14
(%)	57%	43%	0%	100%

	改善	維持	悪化	合計
19年 展望	9	5	0	14
(%)	64%	36%	0%	100%

<サマリー>

- ・ 18年回顧は、トラックストライキ、レアル安、大統領選により需要回復は停滞するも、主に自社努力により、アンケート回答企業すべてが対前年比売上プラス成長を達成
- ・ 19年展望は、新政権の経済政策および緩やかな需要回復期待からアンケート回答企業すべてが18年比売上プラス成長を見込む
- ・ 売上プラス成長を継続維持するために、各社とも販売施策をより強化
- ・ 一方で、重要改革政策の遂行能力、金利および為替動向等のリスクに備えるため、各社とも事業体質や資産管理の強化には引き続き注力

マナウスフリーゾーン（ZFM）について

ZFMの制定の目的は、地域開発と国家保安の確立



1º	SP	São Paulo	11.895.893
2º	RJ	Rio de Janeiro	6.453.682
3º	BA	Salvador	2.902.927
4º	DF	Brasília	2.852.372
5º	CE	Fortaleza	2.571.896
6º	MG	Belo Horizonte	2.491.109
7º	AM	Manaus	2.020.301
8º	PR	Curitiba	1.864.416
9º	PE	Recife	1.608.488
10º	RS	Porto Alegre	1.472.482
11º	PA	Belém	1.432.844
12º	GO	Goiânia	1.412.364
13º	SP	Guarulhos	1.312.197
14º	SP	Campinas	1.154.617
15º	MA	São Luís	1.064.197
16º	RJ	São Gonçalo	1.031.903
17º	AL	Maceió	1.005.319
18º	RJ	Duque de Caxias	878.402
19º	RN	Natal	862.044
20º	MS	Campo Grande	843.120
21º	PI	Teresina	840.600
22º	SP	São Bernardo do Campo	811.489
23º	RJ	Nova Iguaçu	806.177
24º	PB	João Pessoa	780.738
25º	SP	Santo André	707.613
TOTAL 25 MAIORES			51.077.190
TOTAL BRASIL			202.768.562
% TOTAL BRASIL			25,2%

1967年2月28日付大統領令288号にてマナウス・フリーゾーンの設定を発令
2014年の憲法改定法でさらに50年延長され、税制恩典は2073年までとなる。

野口総領事 マナウス地区会員企業訪問

2019年2月21日（木）



Panasonic Brasil社 Manaus工場



Sony Brasil社 Manaus工場

マナウス地域の税制恩典

- 法人税 25%減免
- 工業製品税 (IPI) 100%免除
- ICMS 55%～100%減免
- 輸入関税 (原材料) 88%減免
- PIS/COFINS 3.65%まで減免

マナウス経済特区における生産高・業種別比率・従業員数・輸入/輸入高

Nominal revenue

FATURAMENTO NOMINAL ANUAL DO POLO INDUSTRIAL DE MANAUS – PIM
Em Bilhões – Jan a Set 2010 a 2018 (*)

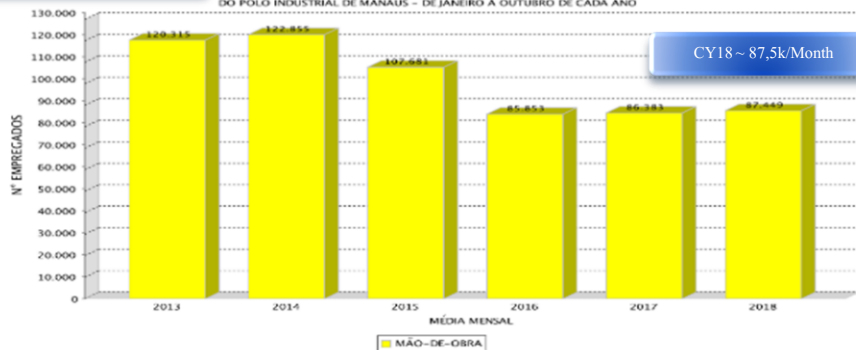


(*) Até Setembro – Dados Parciais
Fonte: COISE/CGPRO/SAP – SUFRAMA
Disponível em: Indicadores de Desempenho do Polo Industrial de Manaus.
Publicação Atualizada até 22/11/2018.

Destaque para o resultado de Jan a Set de 2018 em (R\$), melhor desempenho entre os últimos 8 anos.

Job positions

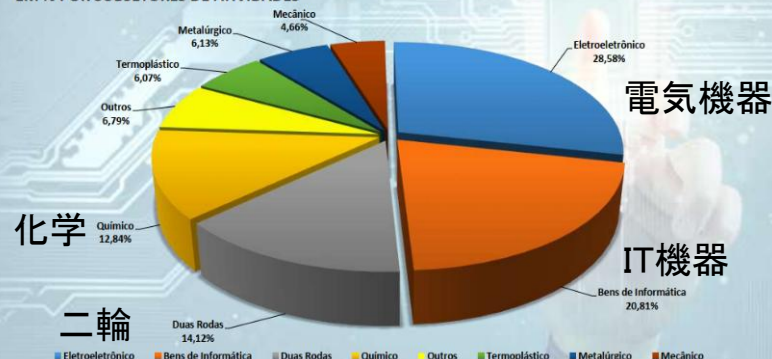
COMPARATIVO DA EVOLUÇÃO DA MÃO-DE-OBRA
DO POLO INDUSTRIAL DE MANAUS – DE JANEIRO A OUTUBRO DE CADA ANO



CY18 ~ 87,5k/Month

% Participation per setor

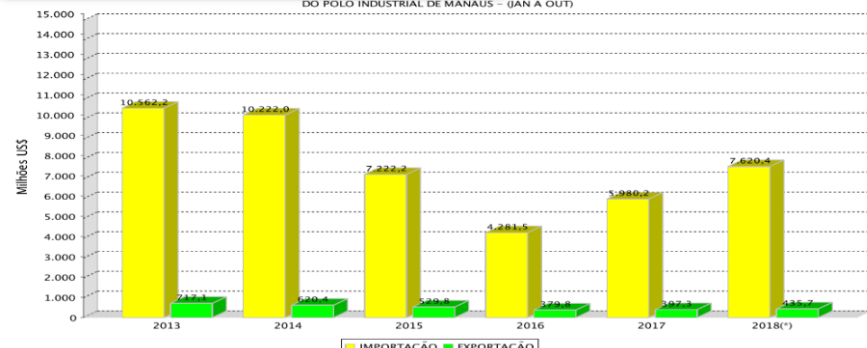
PARTICIPAÇÃO DO FATURAMENTO NOMINAL – Período Setembro/2018 – PIM
EM % POR SUBSETORES DE ATIVIDADES



(*) Até Setembro – Dados Parciais
Fonte: COISE/CGPRO/SAP – SUFRAMA
Disponível em: Indicadores de Desempenho do Polo Industrial de Manaus. Publicação Atualizada até 22/11/2018.

Imp. X Exp. CY18: US\$ 7.6 Bn X 0,44 Bn

EXPORTAÇÃO X IMPORTAÇÃO
DO POLO INDUSTRIAL DE MANAUS – (JAN A OUT)



マナウスフリーゾーンの課題

- 年々厳しくなる現地調達ルール
 - 現地サプライヤーが僅少。現地調達品は輸入品と比較して高価かつ低品質。
結果として税制恩典の一部を相殺してしまっている
- 現状のサプライチェーンにそぐわない現地組立ルール
 - 現状のサプライチェーンでは、部品サプライヤーがモジュール化したものを（複数部品を組み立てしブロック化したもの）セットメーカーに納入するのが一般的
 - マナウスフリーゾーンでは、モジュールではなく最小単位レベルでの部品毎の現地購買及び組立がマストで結果としてサプライチェーンが煩雑になり、高コスト化を招いている
- 税制恩典の不安定さ
 - 度重なる制度変更（税收アップを目的とした変更）によりオペレーションが不安定かつ複雑で先が読みにくい。

商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

日本・メルコスールEPA締結推進（特に欧メルコスールEPAに劣後しないこと）

官民一体となった新政権との関係構築

⇒中国によるアグレッシブな攻勢

⇒商工会議所を通じたAll Japan連携（五輪と連携した日本の技術展、日本の省エネ技術紹介セミナーなど）

マナウスの税制恩典ルールの適正かつ公平な適用

ご静聴、ありがとうございました。